

はちおうじ

▶ 夜明けのケヤキ林 (八王子市横川町)・(前田真三さん撮影)



高尾山

神力最勝

高尾山隆吉



新年明けましておめでとうございます。

振り返って見る二十一世紀幕開けの一年は、世界中が震撼とする大事件が勃発し、心凍る思いも致しましたが、年末には皇孫誕生という嬉しい事もあり、正に悲喜交々の年でありました。

高尾山上にありましても、樹齢数百年といわれる大杉が一本立枯れて、危険な状態にあるということで、年末に二ヶ月程の時間をかけて已むなく伐採されたのであります。数百年の間、風雪に耐えて寺を守り来山者を見守って来た杉を、今ここで切るということには大いに心痛むものがありました。安全ということを優先して決断を致した次第であります。勿論その後には新たな樹木の育成を祈っての植樹を致して参りますが、こうした場面に遭遇することも、この大自然の悠久たる息吹の中に、僅かばかりの時を生かさせて戴く者の、人間と自然との共存共栄の為の宿命の役目かとも感じられるのであります。

高尾山がこの地球上に形を成して何億年かは判りませんが、ここに薬王院が法燈を点じて千二百年余、常に高尾山は豊かな自然と共にあり、それは代々多くの人々にとつての『心のふるさと』であり、また『祈りのお山』でもあったわけでありました。このことは、これからはずっとずっと変わることなくそうあり続くものと存じますが、そうあることを切に願うものでもあります。

我が国の内外のみならず、残念乍ら地球上到る所に騒然たるものがあります。人として世界の平和を願わない者はないと存じます。こんな時にこそ、高尾山の霊気の中に一時心遊ばせつつ『世界の平穏』なることを、更には『身心の安穩』なることを、静かに念じられることをお勧め申し上げたく存じます。皆様方の本年のご多幸をご祈念申し上げます。

春夏秋冬 色とりどりの高尾山

都心からわずか1時間ほどの近さにありながら、自然が豊富で四季折々の美しさを見せてくれる『高尾山』。今号では、第24回八王子の四季観光写真コンクールの入賞作品をまじえながら、高尾山薬王院の表参道でもあり、東海自然歩道でもある自然研究路の1号路を中心に紹介します。



特選:タコ杉の前で(祓川昭さん撮影)

樹高30メートル、目通り約4メートル、樹齢300年とも500年ともいわれる。名の由来は、露出した根の形がタコの足に似ているから。「かつて参道が整っていなかった頃、参詣の人たちが山道がきついの難渋していた。そこで山の天狗たちが道普請を始めたが、途中、四方に根を張った大杉にぶつかった。そこで天狗たちは杉を引き抜く相談をした。翌朝、大杉は根をくるくる縮め、道をよけていた」という伝説がある。



努力賞:高尾山頂(1)(松宮祀行さん撮影)

海拔599メートル。武蔵・相模・駿河等13の国を見渡すことができるといわれるところから、別名を十三州大見晴台という。毎年冬至の頃には、富士山頂の真上に沈む夕日を眺めることができ、近年、カメラ愛好家を中心に人気となっている。



高尾山薬王院有喜寺が正式名。真言宗智山派の大本山である。天平時代(8世紀頃)、行基菩薩が開山したとの言い伝えがある。戦国時代には後北条氏の厚い支援を受け、江戸時代に徳川幕府は同山を幕府直轄の御林山とし、手厚く保護した。山門、仁王門、本堂、本社、大師堂、奥之院(不動堂)、大本坊などからなる関東屈指の名刹である。

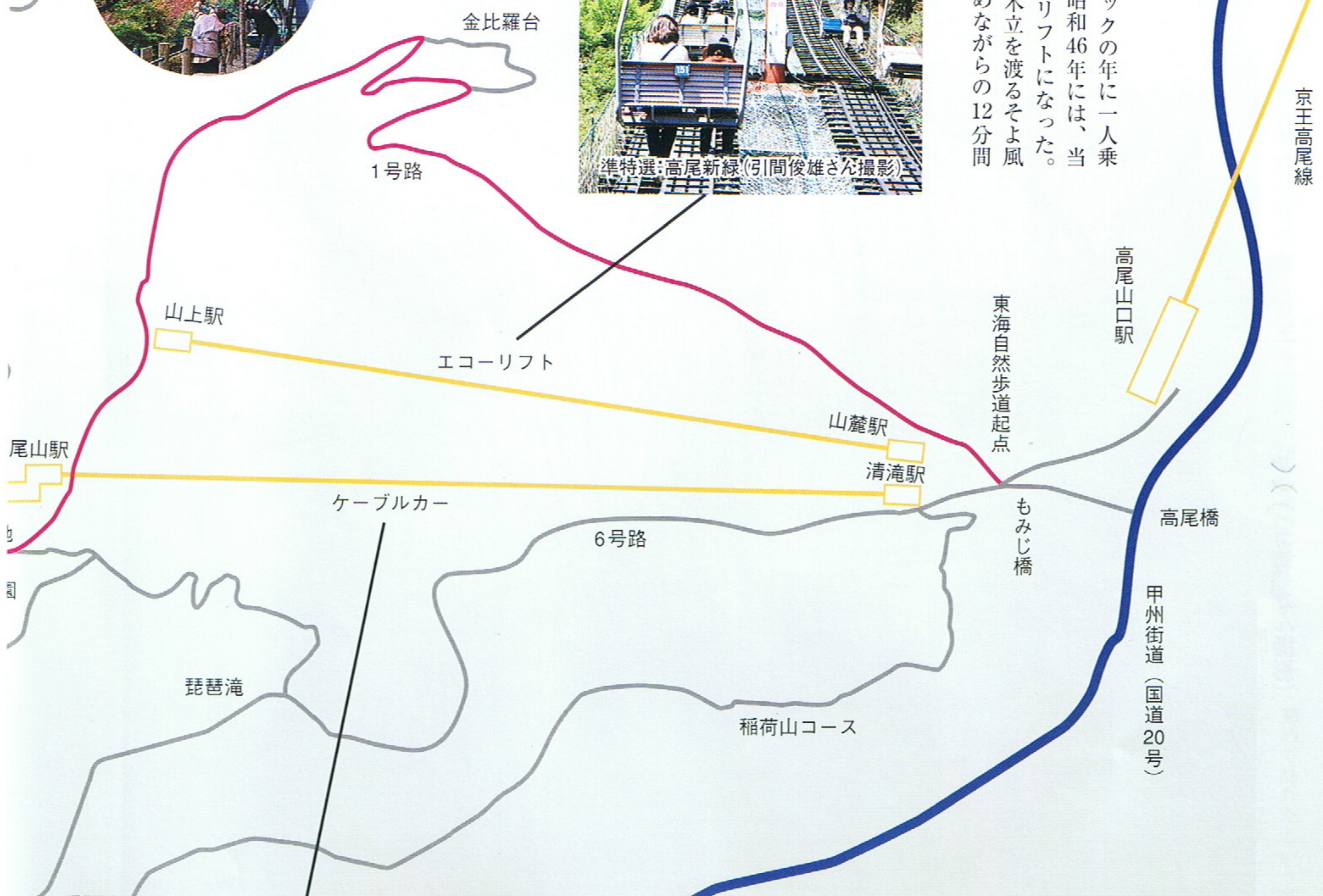


高尾山へ



準特選:高尾新緑(引間俊雄さん撮影)

昭和39年、東京オリンピックの年に一人乗りリフトとして営業開始。昭和46年には、当時としては珍しい二人乗りリフトになった。全長八百七十二メートル。木立を渡るそよ風に吹かれ、新緑や紅葉を眺めながらの12分間の経験は格別である。



入選:雪のケーブル(真次弘さん撮影)

ケーブルカーは昭和2年に運行が始まり、戦時中に一時休止したが、戦後いち早く復活し、高尾山を訪れる多くの人たちの足となっている。最も急なところは31度18分。ケーブルカーの線路では、日本一の急勾配で、車窓から見下ろす乗客は感嘆の声を上げる。

東海自然歩道

明治の森高尾国定公園を起点とし、東海道沿いの山岳・丘陵地帯をとおり、大阪府の明治の森箕面国定公園を終点とする自然歩道。途中コースが二手に別れるところもあり、これをくわえると総延長は1697キロメートルにも及ぶ。その長い道のりの中には、高尾山、相模湖、北丹沢、竜爪山、猿投山、入鹿池、柳生街道、信楽、比叡山、鞍馬、箕面など見どころがたくさんある。





第41回八王子まつり花火大会
八王子まつり2日目の8月4日に、市民球場で行われました。当日は晴れて風も弱く、花火を鑑賞するには最適の状況でした。観客の出足も良く、交通安全祈



願パレード到着の頃から観客が続々と集まり、打ち揚げ開始1時間前には球場は一杯となり閉鎖。また、隣接の陸上競技場も打ち揚げ開始頃には満員となりました。打ち揚げは予定どおり午後7時30分に



始まり、スターマインや新作のハート型花火など、真夏の夜空を彩る三千二百八十五発の大輪に、大きな歓声があがりました。**■カンタンの声を聞く会** 9月8日、百三十五名が参加して高尾山で行われました。高尾山薬王院のお坊さんによる虫供養のあと、精進料理を味わいました。その後、あいにくの雨が降り始めました。参加者の皆さんは、講師が持参した

カンタンの実物を観察し、熱心に聴講していました。今回から新たに始めた餅つきも、「おいしい」「イベントが盛り沢山で楽しい」と好評。遠くは京都から訪れた参加者もいて、皆さん楽しい時間を過ごされたようでした。**■市内観光めぐりツアー** 今年度から始めたこの事業は、10月7・14日にそれぞれ89名・87名が参加して行われました。ツアーは南大沢駅、京王八王子駅を出発し、まず武蔵陵を見学。参加者はほとんど八王子市民で



したが、初めて訪れたという参加者も多く、熱心に見学していました。次に、高尾山を訪れ、ケーブルカーで山上へ。薬王院で精進料理を味わってから山中を思い思いに散策、その後、夕やけ小やけふれあいの里へ向かいました。ふれあいの里では、前田真三写真ギャラリーを見学。皆さん、北海道の美瑛の丘やふるさと八王子を撮影した作品に

見入っていました。最後に、車人形けいこ場を訪れ、西川古柳座の説明と実演に皆、感動し1日のツアーを終えました。**■夕やけふれあいの里まつり** 11月3・4日に夕やけ小やけふれあいの里で、「夕やけふれあいの里まつり」が行われました。モミジやドウダンツツジが紅く色づき秋の深まりを感じさせる中、太鼓や祭り囃子の演奏、大道芸、マジックショー、ハワイフラダンスショーなどさまざまな催しが行われ、来場者を喜ばせていました。



■高尾山もみじまつり 毎秋恒例となった「高尾山もみじまつり」が、11月3日から12月9日まで開催されました。期間中の日曜・祝日を中心に、車人形や民踊おどり、猿まわし、太鼓、琴・尺八、大正琴、お囃子、大道芸、木工クラフト、フオルクローレ、草笛、地酒販売、東京こけしの実演・販売の催しを日替わりで実施。紅葉狩りに訪れた多くの観光客は、自然の中で秋の一日を楽しんでいました。

第24回八王子の四季
観光写真コンクール

入賞作品決まる



推薦：夏休みの体験(立花栄二さん撮影)



ファミリー大賞：ウォーター滑りだい(西野貞男さん撮影)

第24回八王子の四季観光写真コンクールの審査が6月22日に行われ、入賞作品26点が決定しました。このコンクールは、八王子の四季を通じて、祭り、行事・風景・観光施設などを対象として、観光八王子を表現した写真を市内外の方々から応募してもらい、入賞作品はパンフレット・カレンダー等に活用し、観光客の誘致宣伝を図るもの。今回の応募は64名・270点で、入賞作品は8月27日から31日まで市役所2階市民ロビーに展示されました。

これからの協会行事 (予定)

期 日	名 称	会 場
～3月27日	「前田真三写真美術館」展	夕やけ小やけふれあいの里
1月20日	どんど焼き	夕やけ小やけふれあいの里
2月3日	節分会	高尾山薬王院
3月下旬	13年度第2回通常総会	未定
4月上旬～5月下旬	高尾山青葉まつり	高尾山
5月3日～5日	新緑祭	夕やけ小やけふれあいの里
5月19日	野鳥の声を聞く会	高尾山
5月下旬	14年度第1回通常総会	未定
6月2日	山野草に親しむ会	高尾山
6月8日	カジカガエルの声を聞く会	高尾山麓
6月中旬	ほたるの夕べ	夕やけ小やけふれあいの里